

SUGINAMI CITIZENS'

杉並区気候区民会議

CLIMATE ASSEMBLY

開催レポート

第5回：意見提案をブラッシュアップしよう

2024年7月6日（土）13:30～16:30 | 杉並区役所



目次

1 | 実施概要・・・1
2 | 当日プログラム・・・1

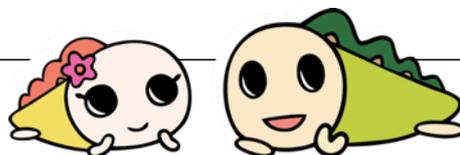
3 | ポスターセッション・グループワークの記録・・・2
全体方針・めざす姿・・・3 / テーマ別の取組・・・5

1 | 実施概要

- 日時** 2024年7月6日（土）13:30～16:30（3時間）
- 場所** 杉並区役所 本庁舎 第3・4委員会室（杉並区阿佐谷南1-15-1、中棟5階）
- 内容** 第1回の情報提供者である東京大学未来ビジョン研究センター/国立環境研究所の江守先生に、第4回で考えた目標や取組についてヒントをいただきました。その後、他のグループの取組などに意見するポスターセッションやワークを通じ、意見提案をさらにブラッシュアップしました。
- 参加人数** 52名（12グループ）

2 | 当日のプログラム

| プログラム | 時間 | | 概要 |
|---------------|-------|-----|---|
| はじめに | 13:30 | 5分 | 本日の目的と進め方 |
| | 13:35 | 10分 | 評価アンケート結果と意見提案（素案）の説明 |
| | 13:45 | 15分 | 意見提案へのフィードバック 第1回の情報提供者である東京大学未来ビジョン研究センター/国立環境研究所 江守正多先生より、意見提案についてのコメントやヒントをいただきました。 |
| ポスターセッション（全体） | 14:00 | 35分 | 意見提案（素案）をよりよくしていこう 第3回で出し合った「めざす姿」や第4回で議論した「取組」のまとめをポスター形式で会場に掲示し、感想やアドバイスを書き込んでいきました。 |
| 全体 | 14:35 | 5分 | 「全体方針」「めざす姿」への感想の確認、グループワークの進め方 |
| | 14:40 | 10分 | 休憩 |
| グループワーク | 14:50 | 90分 | 意見提案（素案）をブラッシュアップしよう 第4回で議論したグループで集まり、ポスターセッションでの意見を確認し、取組の内容をブラッシュアップしていきました。 |
| まとめ | 16:20 | 10分 | まとめ・次回ご案内・アンケート記入 |
| | 16:30 | | 終了 |



3 | ポスターセッション・グループワークの記録

進め方

第5回では、東京大学未来ビジョン研究センター/国立環境研究所の江守正多先生に、第4回で考えた「目標」や「取組」に対してヒントをいただきました。

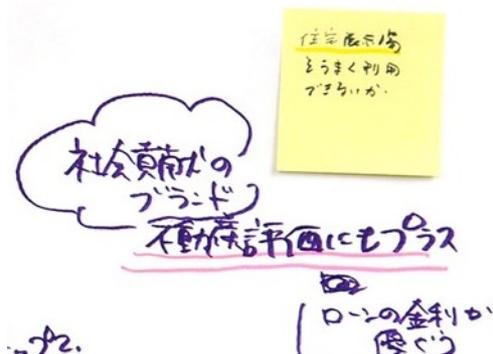
その後、他のグループの取組などに意見する**ポスターセッション**を行い、テーマごとの取組に加えて、全テーマを共通して大切にしたい視点として「全体方針」と、2050年までにめざす杉並区の姿として「めざす姿」について、より良くするための感想やアドバイスを出し合いました。

グループワークでは、第4回で議論した12のグループに分かれて、議論を深めました。江守先生や他の参加者からのヒントや感想を踏まえながら、取組ごとに以下の項目を検討しました。

取組ごとに検討した項目

- ・ 達成したいこと
- ・ 取組の内容
- ・ なぜ杉並区のこの取組が必要か
- ・ 実現に関わるべき主体
- ・ 実現に向けたステップ

ワークシートの読み方



黄色い付箋：

ポスターセッションで出し合った感想・アドバイス

色文字の書き込み：

ファシリテーターによるまとめの言葉や議論した内容

■ 「全体方針」と「めざす姿」

全体方針

第1回の「総論」で、情報提供があった視点であり、第3回以降の熟議では、これらの視点を踏まえながら議論を進めてきました。第5回では、意見提案のとりまとめに向けて、「なぜこれらの視点が大事と思うか」や「追加したい視点」について感想を出し合いました。

「全体方針」についてのご感想

なぜこの視点が大事だと思いますか？

追加したい視点はありますか？

我慢ではなく
仕組み化を考える

さまざまな
主体が連携する

脱炭素以外の
メリットも考える

将来世代に
負担をかけない

他の地域や国に
不公平を生まない

追加したい
視点：

子供たちが
おもしろい
参加してほしい

子どもたちも
当事者として参加

人たけでなく
植物・動物・川なども含めて

イノベーションを
生み出したい

様々な
資源を
考えたい

地域の得意分野を
生かす

めざす姿

第3回で議論した「めざす姿」のまとめの言葉（短冊シート）をもとに、表現を整理した案について、意見や感想を出し合いました。

「めざす姿」についてのご感想

第3日に
全体シール投票は
内容をさらに作成
したい！

「2050年、気候変動対策を実施した杉並区がこうなったらいいな」
2050年までにめざす杉並区の姿

たくさんの
区民が参加すれば
世界のモデル
になる

定款を住民の
参加で世界の
お手本にする
こと目指す

SNS
アプリ
などで
発信
したい

良い取組を
見つけたい
SNSで発信
したい

近隣市区に
見習う

具体的に
減らすこと
落しこぼさず

学校 区民企業
連携でアップサイクル

高い環境意識が受け継がれ、
行動力のある区民が育つまち

キーワード
#社会を伝える行動力のある区民 #高い環境意識
#次世代に受け継ぐ #全区民が知っている

快適で豊かな脱炭素な暮らしを
実現できるまち

キーワード
#継続できる取組 #気候変動対策が前提に #商店街
活性化・コミュニティ・健康にもプラス #自然体で無理な
く暮らしが豊か #脱炭素だからこそ全員が快適

みどり：
質の高い豊かなみどりを守り、育んでいるまち

キーワード
#他都市がうらやむ #質の高いみどり #豊かな自然
#四季を感じる #交流を育むみどり #愛着の持てる
みどり #人と自然に隔たらない #生き物も人もコン
フォータブル #多様性

交通：
だれもが環境にやさしい手段で移動したくなる、
多様なモビリティが共存できる環境が整ったまち

キーワード
#歩きたくなる #自転車に乗りたくなる #楽しい #だれ
もが安心できる道しかない #モビリティと人が共存 #ス
トレスなく移動 #環境が整っている

循環型社会：
ごみの排出量が最も少なく、暮らしに関わる全てのもの
が杉並区内で完結する循環システムのあるまち

キーワード
#ごみ排出最少 #ゼロウェイスト #区内で完結 #循環
システム #リサイクル率 No.1

モデル
イラスト

エネルギー
イラスト

みどり
イラスト

交通
イラスト

循環型社会
イラスト

2 杉並区気候変動対策推進委員会

3 意見募集

この言葉の
前向きな
議論を招き
杉並の文化に

交通とみどりが
計算で！

「みどり」を
キーワード
の軸にする
か出るの？

「L2」
「L3」
「L4」
「L5」
「L6」
「L7」
「L8」
「L9」
「L10」
「L11」
「L12」
「L13」
「L14」
「L15」
「L16」
「L17」
「L18」
「L19」
「L20」
「L21」
「L22」
「L23」
「L24」
「L25」
「L26」
「L27」
「L28」
「L29」
「L30」
「L31」
「L32」
「L33」
「L34」
「L35」
「L36」
「L37」
「L38」
「L39」
「L40」
「L41」
「L42」
「L43」
「L44」
「L45」
「L46」
「L47」
「L48」
「L49」
「L50」
「L51」
「L52」
「L53」
「L54」
「L55」
「L56」
「L57」
「L58」
「L59」
「L60」
「L61」
「L62」
「L63」
「L64」
「L65」
「L66」
「L67」
「L68」
「L69」
「L70」
「L71」
「L72」
「L73」
「L74」
「L75」
「L76」
「L77」
「L78」
「L79」
「L80」
「L81」
「L82」
「L83」
「L84」
「L85」
「L86」
「L87」
「L88」
「L89」
「L90」
「L91」
「L92」
「L93」
「L94」
「L95」
「L96」
「L97」
「L98」
「L99」
「L100」

「いいね」を
もらう
仲間
「いいね」を
もらう

いいね
じゃなく
私刺します！
が大切

取組2：再エネを近所の人たちとみんなで安心して導入できるようにする

1 グループ | エネルギー 家庭における省エネ・再エネ

- タイトル：タイトルだけでも伝わるものにして
- 取組の内容：取組の基礎になる内容をしっかり議論しよう
- なぜ杉並区に必要か？：杉並区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしていこう
- 関わるべき主体：どんな人や組織が取組の実現に関わるべき？
- 実現のためのステップ：はじめの一步、持続させるための仕組みは？

エネルギー

50% = 10倍

達成したいことは？ 区内の家庭での太陽光発電の普及率を30%アップする

取組 02 再エネを近所の人たちとみんなで安心して導入できるようにする

取組の内容

各家庭や集合住宅（分譲・賃貸）での太陽光発電導入の精神的なハードルを越えるために、個人での導入検討ではなく、エリア単位でまとめて情報交換しながら、導入検討を推進できる仕組みをつくる。

• 導入効果ガス排出52.8%を家庭が占めるため、住宅の多い杉並区が率先して取り組むことでお手本になる

• 杉並区には住宅が多く、町会等の地域のコミュニティがしっかりしており、各家庭での太陽光発電の導入にあたって、地域で相談しながら検討できるというメリットがある

— 杉並区に必要でないという理由はない —

取組をカタチにするための「関わるべき主体と進め方のイメージ」

実現に関わるべき主体 実現に向けたステップ

中継自治体 エリア単位

高層階の町会 町会単位で取り組む

コーポ 高層階のモデルエリア 設定

モデル地区 展開

議論したアイデア

提案内容

その他の

杉並区気候区民会議

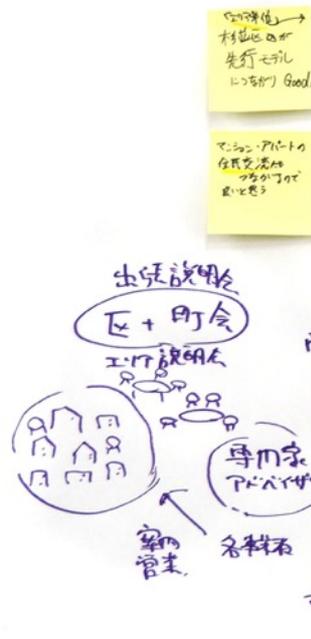
アンケートでのタイトル：
取組2 | 近所の人たちとみんなで導入すれば怖い再エネ

第4回の取組内容

- エリアで条件まとめて太陽光発電を導入しやすい割引が得られるようにして、情報交換しながら導入の検討ができるサービス
- 既存のマンションに太陽光発電を導入できるように、補助金や設置義務などの仕組みを整える
- 区のお墨付きの安心できる業者の登録制度 紹介制度を設け、相談窓口も合わせて設置できると良い
- 気軽にできる太陽光発電を導入したときのモニターをつくり、住宅の耐用年数に合わせて導入費用や改修期間がシミュレーションできると良い

(進め方イメージ/関連の取組)

- 区が所有している公共施設や工作物にはすべて太陽光パネルを設置し、安心感につなげる
- 太陽光発電のお得情報を区民に伝えられると良い
- 簡易的に導入できるペロスカイトの開発を手伝うために、モデル地区での社会実験や、クラウドファンディングを実施する
- ハザードマップの太陽光版のような、太陽光パネルの設置に適した形状の住宅や土地の条件を公開する
- 区が設置業者とGoogleマップなどで調査して太陽光を勧められる家に導入を推奨する



杉並区が先行モデルにする Good!

マンションアパートの住民意識の高さを活かして良いと思う

「導入のハードルを越える」という意見に「導入した後は、お墨付きの安心感があるのでは？」

「導入のハードルを越える」という意見に「導入した後は、お墨付きの安心感があるのでは？」

「導入のハードルを越える」という意見に「導入した後は、お墨付きの安心感があるのでは？」

取組3：省エネ・再エネ住宅の推進パッケージをつくる

1グループ | エネルギー 家庭における省エネ・再エネ

- タイトル：タイトルだけでも伝わるものにして
- 取組の内容：取組の基礎となる内容はしっかり議論しよう
- なぜ移設区に必要か？：移設区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしていこう
- 関わるべき主体：どんな人や組織が取組の実現に関わるべき？
- 実現のためのステップ：はじめの一步、持続させるための仕組みは？

エネルギー

達成したいことは？ 新築・改修ともに戸建住宅・集合住宅の省エネ・再エネにつながる仕組みを充実させる

取組 **03** 省エネ・再エネ住宅の推進パッケージをつくる

取組の内容

省エネ・再エネにつながるエネルギー効率の良い住宅を増やすには、「正確な情報が得られること」「専門家による診断やアドバイスがもらえること」「補助金による金銭的な補助があること」が必要であるが、個別に実施するだけでは実現しないため、一連のパッケージとして区内で展開する。

なぜ移設区にこの取組が必要なの？

- ・ 温室効果ガス排出 52.8% を家庭が占めるため、住宅の多い移設区が率先して取り組むことでお手本になる
- ・ 移設区には住宅が多く、町会等の地域のコミュニティがしっかりしているため、省エネ・再エネの導入が進みやすい

取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ

実現に関わるべき主体

実現に向けたステップ

議論したアイデア

既存の制約の整理 → 自治体の関係機関との連携 → 住宅展示場での紹介 → リフォーム展示場での見学会開催

環境 × 防災 × 防犯

両方 Good.

最終判断は個別

アンケートでのタイトル：
取組3 | 省エネ・再エネ住宅推進パッケージ

移設区で場
より多く行な
うべきかも。

社会貢献の
ブランド
不動産系平面上でプラス

ローンの金利が
低い
エネルギー
Good住宅
認証マーク

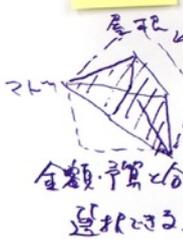
価格を抑えて
リフォームの
メリットを
伝えたい

アスター
セーターを愛用する。

リフォーム
完了マーク

- ・ 情報提供→診断・アドバイザー派遣→補助金によるサポートの一連のパッケージを導入して、省エネ・再エネ住宅を増やせるようにする
 - ・ 既存の集合住宅には管理組合等の大規模修繕の項目として、省エネ・再エネに関するものを義務化し、補助金の導入やアドバイザーの派遣をする
- (進め方イメージ)関連の取組
- ・ ベロブスカイト等の新技術を実証実験できるようなモデル地区を設定し、区民の参加型で効果を検証しながら導入可能性を広げていく

パブリック
コメントを
取り入れる



取組 5：床発電システムを駅や公共施設に導入する

2グループ | エネルギー 地域における省エネ

- ①タイトル：タイトルだけでも伝わるものにする
- ②取組の内容：取組の基礎になる内容はしっかり議論しよう
- ③なぜ移並区に必要か？：移並区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしていこう
- ④関わるべき主体：どんな人や組織が取組の実現に関わるべきか？
- ⑤実現のためのステップ：はじめの一步、持続させるための仕組みは？

**移並
スケジュール表**

ゴッっていとゴッがみない
いろいろスケジュールを
書いておく
Xで5月の分は
スケジュール表

アンケートでのタイトル：
取組 5 | 床発電システムを駅や公共施設に導入する

認知度
100%

あざが
読めない...

省エネ見える化する!

日常生活で目につくところに設置
エネルギー
駅・スーパー・バス(むぎ水)

達成したい
こととは？
地域における日常生活の中に発電を組み込むことで、外から調達する
エネルギーを減らす

取組
個人でできる発電
省エネ意識の啓発
床発電システムを駅や公共施設に導入する
太陽光パネル
啓発のために

取組の内容
区民が日常的に利用する駅や公共施設などに床発電システムを導入することで、気候変動対策等
に関心のない区民も無意識のうちに省エネ・再エネの取組に参加することができ、まち全体で行
える取組になる。また、区民が日常生活で利用する公共施設や公共交通などに、太陽光パネルを
設置し、エネルギーの調達について意識を向けてもらえるような機会をつくる。

なぜ移並区にこの取組が必要なの？
省エネの意識を高めたい
区内でエネルギーをつくり、置き換えることができるようになる

取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ

実現に関わるべき主体
移並区
第1歩者
区役所に
設置する
仕組み
企業
協力企業の
ポスト-サテライト
取組を促す
企業に補助金E.
床発電の
補助金
があるらしい

実現に向けたステップ
1 おまは
区役所に
設置する
仕組み
2 企業の
参加を
増やしていく
3

議論したアイデア

- ・床発電システムを駅や公共施設など、交通量が多い場所を設置することで、日常の中に発電する取組を取り入れることができる
- ・自家発電に参加を促すと、移並区の暮らしに使えるお得なポイントや地域振興券などがもらえるようにし、多くの区民が参加する取組にする
- ・太陽光パネルを公共施設や公共交通に設置する

第4回の取組内容

省エネ見える化する!

床発電がどのくらい効果ある?
太陽光 発電してる?

公共施設や
駅や観光地などに
パネルを設置して
目標値をわかる

3つをXって
区がどこまで
省エネできたら
わかる

目標達成
100%
ポイント!!

省エネ意識を
就職に便利?

床発電に
ついては
PRをしよう
色いME

床発電システム
が理解でき
ない

太陽光パネルは
2本建てでよく
す。建設費は
高。取組が
おもしろい

床発電を取り
入れるには
何が必要か
について
検討したい

区民が日常的に
利用する駅や
公共施設など
に太陽光パ
ネルを設置
したい

床発電したい
この取組を
推進してほしい
区民の声

床発電の
推進を
したい

学生
新しい発電について
研究してくれたい
支援してほしい

くつのはかじきに
床発電のもの
いれておく?

取組 8：(仮) 化石燃料由来の電力を 再エネ由来の電力に切り替える

3グループ | エネルギー 地域における再エネ

- タイトル：タイトルだけでも伝わるものにして
- 取組の内容：取組の基礎になる内容はしっかり議論しよう
- なぜ移並区に必要か？：移並区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしていこう
- 関わるべき主体：どんな人や組織が取組の実現に関わるべき？
- 実現のためのステップ：はじめの一歩、持続させるための仕組みは？

① 化石燃料由来の電力を
 ② 再エネ由来の電力に切り替える

共有する
 ↓
 個人会社も
 切り替えよう!!
 ↓
 再エネ使おう!
 再エネつくる! (補助金)
 ↓
 補助金作り出す
 料金体系

エネルギー

達成したいことは? 移並区内の電力を 100%、120% 再エネでまかなえるようにする

取組 **03** (仮) 化石燃料由来の電力を 再エネ由来の電力に切り替える

取組の内容

再生可能エネルギーに切り替える選択肢があることを広く周知徹底し、再エネ由来の電力への切り替えを後押しするインセンティブを整備して、個人や事業者に働きかける。

なぜ移並区にこの取組が必要なの?

- 区内の住宅、集合住宅、商業施設、道路、公共施設全部を再エネの導入に使っても電力需要を100%まかなえないので、調達を化石燃料由来の電力から再エネに切り替えることで対応するのが現実的

取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ

実現に関わるべき主体

実現に向けたステップ

- 1 周知する
- 2 準備を整えて
- 3 補助金インセンティブがある

議論したアイデア

移並区 事業者 住民 他

移並区気候区民会議

移並区 補助金
 補助金
 補助金
 補助金

周知の方法は?
 LINE
 会社ぐるみで
 おたて
 自転車発電

インセンティブは?
 ① 意識的促進
 ② 補助金

- 第4回の取組内容
- 再生可能エネルギーに切り替える選択肢があることを広く周知する
 - 再生可能エネルギーへの切り替えを後押しするインセンティブをつくる
 - 新規事業者や既存事業者への規制、補助金等で再エネ化を誘導する

取組 9：交流自治体や地方と再エネを起点にした 相互的な協力体制をつくる

3グループ | エネルギー 地域における再エネ

- タイトル：タイトルだけでも伝わるものにして
- 取組の内容：取組の基礎になる内容はしっかり議論しよう
- なぜ移並区に必要か？：移並区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしていこう
- 関わるべき主体：どんな人や組織が取組の実現に関わるべき？
- 実現のためのステップ：はじめての一步、持続させるための仕組みは？

姉妹都市交流自治体 とやること

名寄町
姉妹都市
協定 協定
する
おもしろいこと

おもしろいこと
おもしろいこと
おもしろいこと

・委託して発電してもらい
買取り保証・投資
土地・海を提供してもらう

↓

・区民向けに区民も個人協同
で給食、米、野菜を買い
たい学校... 養育

・伝統行事をきっかけに交流
科

・どうせお湯泉があるから
...地熱発電

今までの
おもしろい
おもしろい
おもしろい

交流自治体
おもしろい
おもしろい
おもしろい

他自治体の
おもしろい
おもしろい
おもしろい

強み：住宅都市に比べ
交流自治体産電か（世田谷＝おもしろい）

達成したいことは？ 区内でまかなえない電力は、交流関係のある地域・都市から調達する

取組 交流自治体や地方と再エネを起点にした 相互的な協力体制をつくる

取組の内容

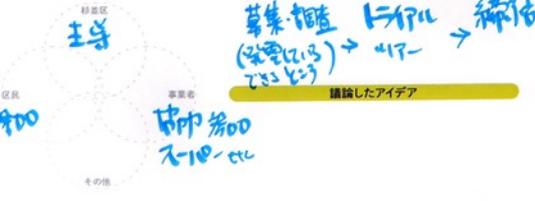
再生可能エネルギーを起点にした交流自治体との協力体制を構築し、交流自治体とは電力だけでなく、事業交流や人的交流、自然体験教育など幅広く相互に助け合う。

なぜこの取組が必要なの？

再エネへの移行は補助金任せではコストがかかりすぎるため、補助金ではない誘引事業が必要
こはなような自然豊かな地域となれば教育にも良い
再エネが必要なのか、太陽光パネル発電地や風力発電の自然への影響なども含めて子どもか
入まで環境意識の醸成と自然環境教育・体験がもっと必要のため
施設がない住宅地移並にとっては、災害の時に助け合える区外のパートナーを持つ必要がある

取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ

実現に関わるべき主体 実現に向けたステップ



移並区気候区民会議

標準

アンケートでのタイトル：
取組 9 | 交流自治体や地方と再エネを起点にした相互的な協力体制をつくる

表で「所
おもしろい
おもしろい
おもしろい

企業が学校等
おもしろい
おもしろい
おもしろい

第4回の取組内容

・電力事業・交流事業を事業会社「移並電力」が企画運営する

循環型社会

4 グループ | リデュース：ごみ・食品ロスを減らす

取組 10：商店街でフードロスをテーマにした ハレの日の催しをつくる

4 グループ | 循環型社会 リデュース：ごみ・食品ロスを減らす

- タイトル：タイトルだけでも伝わるものにして
- 取組の内容：取組の基礎になる内容をしっかり議論しよう
- なぜ移並区に必要か？：移並区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしていこう
- 関わるべき主体：どんな人や組織が取組の実現に関わるべき？
- 実現のためのステップ：はじめの一步、持続させるための仕組みは？

「ハレの日」催し
関心が高い
思っ

フードロスは日々発生
ものも「ハレの日」を
「ハレの日」を
毎日の食糧を
つなぐ

子供向けに
フードコート
イベント
開催

公園で催し
開催

防災・日に
防災会
開催

具体的なイベント
開催

食品ロス削減
イベント

循環型社会

達成したいことは？ 行政・企業・飲食店が連携し、ごみ・食品ロス削減に効果的な取組を多数実施する

取組 商店街でフードロスをテーマにしたハレの日の催しをつくる

取組の内容 フードロス削減の取組を楽しく体験できる商店街のイベントを、区全体で展開する

なぜ移並区にこの取組が必要なの？

- ・移並区は商店街が多いため、区民が身近な場所で楽しみながらフードロスの取組に関わる機会を増やすことができる
- ・商店街の各店舗に協力してもらうことで、フードロス削減につながることも、商店街の賑わいにつながる

取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ

実現に関わるべき主体

実現に向けたステップ

議論したアイデア

移並区気城区民会議

アンケートでのタイトル：
取組 10 | 商店街でフードロスをテーマにしたハレの日の催しをつくる

イベント時こそ！ごみ・食品ロス削減につながる
「ゴミゼロ」イベントと
マニュアルをつくり、区内のお客
リサイクルイベントで活用できるようにする

かんきょうに
イベント
開催

イベントは
食生活
イベント

公共空間で
イベント
開催

取組 11：杉並循環ラボをつくる

4 グループ | 循環型社会 リデュース：ごみ・食品ロスを減らす

- タイトル：タイトルだけでも伝わるものにしてよう
- 取組の内容：取組の基礎になる内容はしっかり議論しよう
- なぜ杉並区に必要か？：杉並区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしていこう
- 関わるべき主体：どんな人や組織が取組の実現に関わるべき？
- 実現のためのステップ：はじめの一步、持続させるための仕組みは？

Handwritten notes on sticky paper:

- 後世へ伝わる
杉並らしい
スタイルが
good!
- MITの事例
紹介
推進のイメージ
に合わせた
見直し
- 企業と連携が
る。子もたす
参加しやすい
仕組み
が必要
- 空き家はポロ
ポロにイデ
アから提案
あるの？
- 企業と
万が一
協力
して
みる
- 町会
を
集める
市井の
意見
- 次世代の
ビジネス
が
できる
仕組み
を
作る
- 杉並区
で
見直し
を
したい
- 杉並型
ラボ

循環型社会

達成したいことは？
ごみに関する意識の改革につながるような、楽しく学び、体験する機会をたくさん創出する

取組
杉並循環ラボをつくる

取組の内容

空き家や老健施設、企業が生活者のニーズに応じたサービスや商品を区民と共に開発・展開する、循環型社会をテーマにしたリデュースラボをつくる。
(ヒック)

なぜ杉並区にこの取組が必要なの？

- ・ 杉並区は住宅地が多く、住んでいる人の意見を集めることで、効果的な取組を行うことができる
- ・ 空き家や今ある施設などを拠点にすることで、関わる区民を増やし、一人一人の意識を変えることにつながる

取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ

| 実現に関わるべき主体 | 実現に向けたステップ |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 1 杉並区 2 町会 3 企業 | <ul style="list-style-type: none"> 1 人材を集める 企業、研究者 2 ハンズオン 杉並区 |

議論したアイデア

- 町会
を
集める
- 空き家
を
活用
- 研究者
を
活用
- 企業
と
連携

杉並区気候区民会議

アンケートでのタイトル：
取組 11 | 杉並循環ラボをつくる

第4回の取組内容

- ・ 企業が生活者のニーズに応じてサービスや商品を開発・展開する、循環型社会をテーマにしたリデュースラボをつくり、ごみの減量が実現するよう取組を行う

取組 12：杉並式生ごみ循環システムをつくる

4 グループ | 循環型社会 リデュース：ごみ・食品ロスを減らす

- タイトル：タイトルだけでも伝わるものにしてよう
- 取組の内容：取組の基礎になる内容はしっかり議論しよう
- なぜ杉並区に必要か？：杉並区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしていこう
- 関わるべき主体：どんな人や組織が取組の実現に関わるべき？
- 実現のためのステップ：はじめの一步、持続させるための仕組みは？

各地域に
生ごみ減量
の取り組みを
進めたい

いっとき前までは
生ごみ減量の取り組み
がなかった。肥料
の削減に力を入
れている。

生ごみを処理する
場所を別の区に
移すのはいいけど
コストが高い

生ごみを減らす
には、肥料の削減
が重要。肥料の削減
は、生ごみの減量を
促進する。

生ごみを減らす
には、肥料の削減
が重要。肥料の削減
は、生ごみの減量を
促進する。

生ごみを減らす
には、肥料の削減
が重要。肥料の削減
は、生ごみの減量を
促進する。

生ごみ減量を
促進するため
には、肥料の削減
が重要。

生ごみを減らす
には、肥料の削減
が重要。肥料の削減
は、生ごみの減量を
促進する。

循環型社会

達成したいことは？ 世界一ごみの排出量が少ないまちを実現する

取組 12 杉並式生ごみ循環システムをつくる

取組の内容

可燃ごみを減らすために、生ごみをまとめて堆肥化して区内で野菜を生産し、消費するシステムをつくる

なぜ杉並区にこの取組が必要なの？

- ・ 区内で1番、2番ではなく、世界一を目指すことで区全体で効果的な取組が行えるようになるため
- ・ 昔から革新的な考え方を持つ人が多く、区民の意識が高いため

取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ

| 実現に関わるべき主体 | 実現に向けたステップ | | |
|------------|------------|---|---|
| | 1 | 2 | 3 |
| 杉並区 | | | |
| 事業者 | | | |
| その他 | | | |

議論したアイデア

第4回の取組内容

- ・ 生ごみを工業用コンポストに集約する
- ・ 堆肥化して野菜を育て、区民に野菜やポイントを提供する

アンケートでのタイトル：
取組 12 | 杉並式生ごみ循環システムをつくる

自分かど本だけ
ゴミを出しているのが
可視化ある
「ゴミフオーゼア」
をつくる

データについて訂正：
杉並区民一人当たりのごみの排出量が23区内で2番目ではなく、現在は1番目

循環型社会

5 グループ | リユース：繰り返し使う

取組 13・15 (1つに統合):

一度使ったものをアップサイクルや修理できる拠点「REプレイス」を創出する
 一度使ったものをシェアする「杉並区0円均一DAY」の仕組みをつくる

5 グループ | 循環型社会
5 グループ

リユース：繰り返し使う

リユース
くりかえし使う

- ① シェア・共有
- ② 修理・リペア
- ③ アップサイクル
ex. ランセル

循環型社会

達成したいことは? アップサイクルや修理を促進し、粗大ごみを半減させる

取組 13 「REプレイス」を創出する

一度使ったものをアップサイクルや修理できる拠点

一度使ったものをシェア・リペア・アップサイクルできる拠点創出は、
 区へ波及効果を生む仕組みをつくる

「モノのお医者さん」などを通じて、一度使ったものでもアップサイクルや修理できる拠点をアーティスト、学生、企業などとコラボレーションしてつくる。また、

リユースを促す。シェア → 取組14と連携

なぜ杉並区にこの取組が必要なの?

- 杉並区にはアーティストがたくさんいるので、コラボレーションできるため
- 一度使用して、使わないものを区民同士でシェアできるため

取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ

実現に関わるべき主体 実現に向けたステップ

1. アートに興味のある市民 2. キャンペーン 不定期開催

3. 拠点 持続可能な体制 (組織づくり)

4. 区民 取組14と連携

5. 企業 協賛企業

6. 自治体・区 企業

7. アーティスト (世界中)

第4回の取組内容

- ・ 使えるモノ、使えないモノの分別をする
- ・ アーティスト、学生、企業などとコラボレーションしてアップサイクルする
- ・ モノを修理してくれる「モノのお医者さん」を設置する

活動を普及させるために:

- ・ 広報誌や新聞広告を活用する
- ・ 世代別に働き世代、子育て世代、子ども、若者などへ向けに普及キャンペーンを実施する

5グループ | 循環型社会

ス：繰り返し使う

- タイトル：タイトルだけでも伝わるものにして
- 取組の内容：取組の基礎になる内容はしっかり議論しよう
- なぜ杉並区に必要か？：杉並区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしていこう
- 関わるべき主体：どんな人や組織が取組の実現に関わるべき？
- 実現のためのステップ：はじめの一步、持続させるための仕組みは？

買ったモノは、誰か
買っただけじゃなく
モノも使わなきゃ
意味ない（モノの
価値）

モノを、
家具家電の類、
だまめに捨てる
でなく、ちゃんと
使うモノもあり？

取組の用途が
明確に示されて
いるモノはシェア
しやすいかも？

再利用の仕組み
を、モノの寿命
が長いモノに
適用したい

常に必要のない
モノは共有できる
のはいいと思う

新しい
仕組みをつくる
—————

他の地域も
参考にしながら
そこに合うように
するのがいい！

新しいモノ
のシェアリング
の仕組みを
つくるのが
いいと思う

7/17/2019
ワークショップ
Dayでのワークショップ
で話し合った
内容

循環型社会

達成したいこと？ 一度使ったモノのシェアを実現し、区民同士のコミュニティ形成も図る

取組 一度使ったものをシェアする
「杉並区0円均一DAY」の仕組みをつくる
イラスト

取組の内容

区民同士でモノを交換する日や区主催のフリーマーケットを設けるなど、一度使ったモノをシェアする仕組みをつくる

なぜ杉並区にこの取組が必要なの？

- ・すでに一部地域ではやっている取組なので、すぐに取り組むことができそう
- ・近隣で顔の見える関係性、地域コミュニティ形成のきっかけになる
- ・既存の杉並区のイベントが活用できる

取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ

| 実現に関わるべき主体 | 実現に向けたステップ | | |
|------------|------------|---|---|
| 杉並区 | 1 | 2 | 3 |

区民 事業者 その他

議論したアイデア

※ 杉並区気候区民会議

アンケートでのタイトル：
取組15 | 杉並区0円均一DAYの開催

公式X等で
いい情報がある
かも！

第4回の取組内容

- ・年に2回、家の軒先に不用品を出して、区民同士でモノの交換、循環をできるようにする
- ・出店は区民限定の杉並区主催フリーマーケットを開催する

6グループ | リサイクル

取組 16：杉並区内の生ごみからできた土をつくり、杉並ブランドとして商品化する

6グループ | 循環型社会

リサイクル：再資源化を進める

- タイトル：タイトルだけでも伝わるものにする
- 取組の内容：取組の基礎になる内容をしっかり議論しよう
- なぜ杉並区に必要か？：杉並区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしていこう
- 関わるべき主体：どんな人や組織が取組の実現に関わるべき？
- 実現のためのステップ：はじめの一步、持続させるための仕組みは？

たいてい
マテリアルソー
しゅんごうエッセンス
めいご
→めいご等に入りたい

杉並区
「お盆」の
お盆の
お盆の
お盆の
お盆の

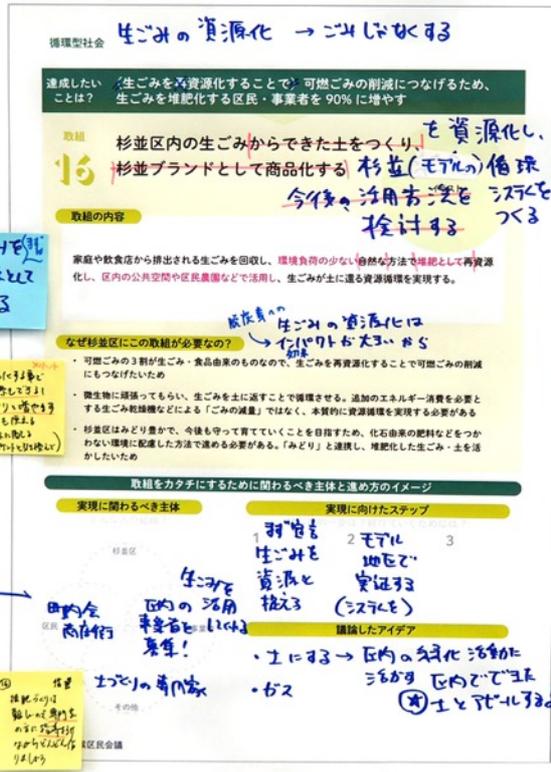
「お盆」の
お盆の
お盆の
お盆の
お盆の

お盆の
お盆の
お盆の
お盆の
お盆の

杉並で
リサイクル
はももを
ブランド?

生ごみで
資源化を
促す

緑化の
促進に
つなげる



アンケートでのタイトル:
取組 16 | 杉並区内の生ごみからできた土をつくり、杉並ブランドとして商品化する

生ごみの資源化のメリット

- ・土にできてきれい
- ・身近に感じやすい

課題:
・土の活用と活用の制限

第4回の取組内容

- ・家庭や飲食店から集めた生ごみを堆肥化して、Made in SUGINAMIの主として商品化して売る
- ・公園の緑地や街路樹などみどりがある公共空間では杉並の土を活用する。また、区民が家庭や区民農園などには配布する。

さらに検討が必要なこと

- ・堆肥化したコンポストの活用方法
- ・生ごみの運び方、回収方法
- ・「キョーロ」など、量が増えないコンポストを活用することで回収の必要性をなくす

この提案は
生ごみの回収が
杉並区でできる
（区民農園など）
（区民農園など）

生ごみの
資源化は
区民農園
で活用する
ことが
できる

取組 17：リサイクルの細分化を体験し、学べる場や機会を杉並区内につくる

6グループ | 循環型社会 リサイクル：再資源化を進める

- タイトル：タイトルだけでも伝わるものにして
- 取組の内容：取組の基礎になる内容はしっかり議論しよう
- なぜ杉並区に必要か？：杉並区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしていこう
- 関わるべき主体：どんな人や組織が取組の実現に関わるべき？
- 実現のためのステップ：はじめの一步、持続させるための仕組みは？

循環型社会

達成したいことは？ まちの身近なところにリサイクルできる回収拠点や場がたくさんある状態を実現する

取組 **17** リサイクルの細分化を体験し、学べる場や機会を杉並区内につくる

イラスト

取組の内容

杉並区の資源回収率を高めるために、公園、駅、スーパー、公共施設など、日常生活の延長線上のまちのあらゆる場所でもリサイクルできるようにする。また、一部では細分化されたリサイクルなど、先進的な手法を体験し学べる場をつくることで、区民のリサイクルへの理解も深める。

なぜ杉並区にこの取組が必要なの？

- ・ 家以外のまちの中でリサイクルを実施・体験できる場が少ない
- ・ 公園などにはごみ箱が設置されているが、リサイクルボックスはないため、そういう場所でも子どもと一緒にリサイクルを実施・体験しながら教えられようようにしたい
- ・ 「体験」をすることで「理解」や「学び」につながり、「日常」「当たり前」になっていくため、まずは体験する機会を増やす。徳島県上勝町の「HOTEL WHY」のように、リサイクルをはじめとする循環型な生活を、杉並区の日常の中でも体験できるようにしたい

取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ

| 実現に関わるべき主体 | 実現に向けたステップ |
|------------|------------|
| 1. 区民 | 2. 話し合い |
| 3. 事業者 | 4. 実施 |

議論したアイデア

- ・ 3Rで進めよう！
- ・ 公園の民間注目の案件にする
- ・ 区民の意見を取り入れる
- ・ 公園のカフェン (Park PFI的)
- ・ 区民の意見を取り入れる

循環型社会
リサイクルの細分化を体験し、学べる場や機会を杉並区内につくる

アンケートでのタイトル：
取組 17 リサイクルの細分化を体験し、学べる場や機会を杉並区内につくる

今日の会議
で決めたこと
をメモしておく
必要

リサイクルの細分化を学べる場や機会を杉並区内につくる

資源回収の日や場所以外に、回収場所を便利にする

第4回の取組内容

- ・ 公園、駅、スーパー、公共施設など、日常生活の延長線上のまちのあらゆる場所でもリサイクルできるように、リサイクルボックスを設置する。
- ・ 現状のリサイクル品目だけでなく、リサイクル先進自治体のように細分化されたリサイクルのしくみを体験することで、リサイクルの理解促進にもつなげる。
- ・ 正しく分別されるように適正な管理が大事であるため、管理体制を構築する
- ・ まずは公共施設の中など、管理体制や人の目がある場所から始める

区民
事業者
その場
杉並区気候区民会議
のお店

区役所、高井戸リサイクルセンター
↓
10年ほど前から
体験の場
公園にある
カフェと
拠点

区役所の
拠点内
に
PFI的な

区役所内に
カフェや
ショップ
を設ける

8グループ | みどりを増やす

取組 22：歩いて 10 分森林浴ができる杉並区を実現する

8グループ | みどり みどりを増やす

- タイトル：タイトルだけでも変わるものにしてよう
- 取組の内容：取組の基礎になる内容をしっかり議論しよう
- なぜ杉並区に必要なか？：杉並区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしていこう
- 関わるべき主体：どんな人や組織が取組の実現に関わるべきか？
- 実現のためのステップ：はじめの一步、持続させるための仕組みは？

いいね

歩いて10分は
樹でも利用
できればお喜
びです

どなたかAIなどが
発達しても、みどり
による自然環境は
欠かすことが出来
ない

と26
わがり
杉並区
表紙の
表紙の
表紙の

① 図が
ゆるい
ゆるい
ゆるい
ゆるい
ゆるい
ゆるい
ゆるい
ゆるい

みどり

Choco森林浴 (1歩10分)

達成したいことは？ 区民が日常生活の延長で森林浴ができるぐらいの緑の量と質を、区内各所に増やす

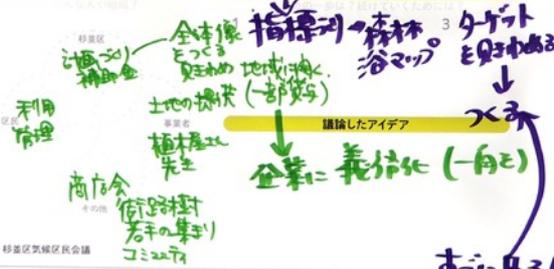
22 歩いて10分森林浴ができる杉並区を実現する

取組の内容
空き地・空き家を活用し、森林浴できるぐらいのボリュームの樹林を増やす。人が安心して過ごせる樹林地を、歩いて10分という身近にアクセスできる距離で、かつわかりやすい指標を掲げながら、杉並区中に適切な樹林地を確保していく。

なぜ杉並区にこの取組が必要なのか？

- ・未利用地を活用すれば、意外とできそうな気がする
- ・心の豊かさを大事にする区
- ・住んでいる人が満足し、享受できる住宅地中心の杉並区
- ・「歩いて10分」などの客観的な指標をつくり、みんなのみどりへの関心を高め、取り組むたいと思えるスローガンが必要である

取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ



実現に向けたステップ
「全世帯が徒歩10分以内」に森林浴できる場所を「歩いて10分」の指標を設定する。

アンケートでのタイトル：
取組 22 | 歩いて10分森林浴ができる杉並区

ターゲット
杉並区中心の
ゆるい(歩くと
気持ちよく歩
ける)

森へのアクセス

徒歩10分以内
歩くと気持ちよく
歩ける

歩くと気持ちよく
歩ける

杉並区公園の
緑(緑)の量を増や
す。公園内の
地質改善も行うと
よい。

草木だけでなく、
四季を感じられる
花が咲くように
歩くと気持ちよく
歩ける。

第4回の取組内容
・地域の課題になっている空き地・空き家の土地を、森林浴できるみどりに転用することで有効活用すると同時に、人が訪れるようにすることで、人の目が増え、地域の安全・安心もアップさせる

新緑(4月)
紅葉(10~11月)
桜も咲いて(4月)

緑地帯に
ピンポイントで
試算

杉並区は
杉並区に

取組 24：(仮)緑被率などのみどりの現状や目標をつねに可視化させ、自分ごとにする

8グループ | みどり みどりを増やす

- タイトル：タイトルだけでも伝わるものにして
- 取組の内容：取組の基礎になる内容はしっかり議論しよう
- なぜ杉並区に必要なか？：杉並区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしていこう
- 関わるべき主体：どんな人や組織が取組の実現に関わるべき？
- 実現のためのステップ：はじめの一歩、持続させるための仕組みは？

おまじを伸ばす
おまじに
No.1になる
指標をい
てみる

地との連携
脱着型と着型
移動型と固定型
固定型、地との
連携も考えたい
では

十の要素と八
緑地を
増やす
取組の
成功
要素

みどり

客観的なみどりの目標数値の存在を知らない人が多い状態から、緑被率目標と現状を知っている区民を増やし、緑を増やす機運をまずつくる

取組 24 (仮) 緑被率などのみどりの現状や目標をつねに可視化させ、自分ごとにする

取組の内容

みどりに関する目標となっている「緑被率」の認知度を高めるため、みどりを増やすことの必要性を感じて、生活者の視点で自分ごととして捉えられるようにクイズや身近な場所での広聴などを活用する。また、緑被率を区全体の数値とするのではなく、みどりをどこにどれだけ増やすのが具体的な目標を設定し、公共任せにせず、区民一人ひとりがみどりを増やす当事者であるとする。

なぜ杉並区にこの取組が必要なの？

- 日常生活で、身の回りの緑の現状や将来像を知る機会がほとんどない
- みどりの量の指標（緑被率）そのものについて知らない人がほとんどで、認知度が低い。まだそうした認知度の調査もされておらず、数値化されていない
- 緑被率を上げるという目標では遅延としてしまい、みんなみどりを増やすことに対して人任せになってしまうので、杉並区ではまだない、ブレイクダウンした数値目標が必要

取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ

実現に関わるべき主体

実現に向けたステップ

1 新指標の作成
2 住民への告知
3 取組の実施

議論したアイデア

- PRイベント
- 学校で教える
- 皆の声を聞く
- 共済の優待を知るとか

自分ごとにする
地味なけど
大事

アンケートでのタイトル：
取組 24 (仮) 緑被率や達成状況をPRし、自分ごと化する

PR方法の
この指標を
どう伝える
住民が
出したい
人です...

緑被率を
増やす
取組の
成功
要素

住民への告知
区報 - 緑被率対策コーナー
区民センターのコーナー
インフルエンサー / SNSに紹介してもらう

第4回の取組内容

- みどりを増やすターゲットやゴールを共有する一歩として、緑被率や達成状況を周知する
- 数値目標をブレイクダウン（具体化）し、土地利用の用途別に設定する
- 数値目標を具体的に定めることで、開発時に事業者や建て主に緑を増やすことを積極的に誘導していく

増やす方法

ゼロから作る
既存の
みどりを
増やす
方法
を
知る
こと

10 グループ | 自動車利用の低減

取組 27：仕事で使う自動車を減らすために、商用「車」から商用「X」に移動手段を変化させる

10 グループ | 交通 自動車利用の低減

- タイトル：タイトルだけでも伝わるものにしよう
- 取組の内容：取組の基礎になる内容をしっかり議論しよう
- なぜ移並区に必要か？：移並区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしていこう
- 関わるべき主体：どんな人や組織が取組の実現に関わるべき？
- 実現のためのステップ：はじめの一歩、持続させるための仕組みは？

取組の目的は、
移並区に必要と認められる
取組の目的は、

企業間の連携
トラックの活用
共同配送の活用
車いすの活用
企業間の連携
トラックの活用
共同配送の活用
車いすの活用

人への移動手段
(自転車、荷車等)
を一定以上割合で
稼働させるべきである
への期待

アンケートでのタイトル：
取組 27 | 商用「車」から商用「X」に

共同配送ステーション
を増設し再配達の
効率化を図る。

商用車等の
稼働率を向上
させる

配達は区外に比べて
少ないと聞いて、
他の区に比べて
連携を強化したい。

区下に
商用車専用
道路を...

交通

達成したいことは？ 配達や業務で使う商用車の移動を効率的にする

取組 27
仕事で使う自動車を減らすために、
商用「車」から商用「X」に移動手段を変化させる

取組の内容

配達の効率化や再配達に対する仕組みの導入など仕事で利用する自動車を減らす取組の導入を企業等に促し、業務利用しやすい自動車以外の新しい移動手段を普及させる。

なぜ移並区にこの取組が必要なの？

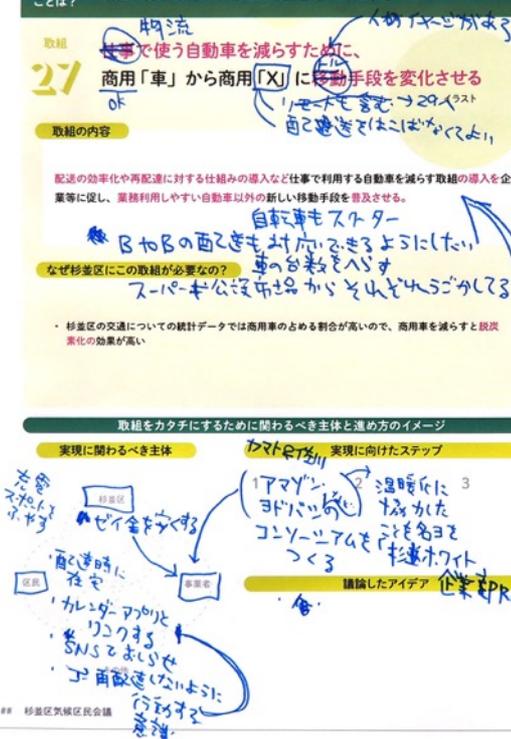
・ 移並区の交通についての統計データでは商用車の占める割合が高いので、商用車を減らすと脱炭素化の効果が高い

取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ

実現に関わるべき主体

実現に向けたステップ

議論したアイデア



- モノの運送
- ・ 配達のための自動車を減らすために、運送ボックスの義務化や再配達の有償化などの制度でコストを削減し、荷物の再配達を減らす
 - ・ 配送を効率化し、配送車の移動を減らすように企業へ働きかけ、促す仕組みをつくる
 - ・ 共同配送など自動車以外の新しい配送システムを使うようにする
- ヒトの移動
- ・ リモートでの仕事を促進することで自動車に頼る必要性を減らす
 - ・ 乗客のEV化を推進し、充電スポットの充実などEV車が使いやすい環境を整える
 - ・ 電動スクーター、乗合タクシー、雨天時も自転車に乗れる環境の整備など、自動車以外の移動手段を確保して自動車の移動を減らす
 - ・ 他地区の良い事例を調べて、企業が見習えるようにする
- フレンドプロジェクト：はたらく人の環境を
エコ通勤

取組 28：区内の移動を快適に！交通手段を増やして車を減らす

10 グループ | 交通 自動車利用の低減

- タイトル：タイトルだけでも伝わるものになよう
- 取組の内容：取組の基礎になる内容はしっかり議論しよう
- なぜ移住区に必要か？：移住区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしていこう
- 関わるべき主体：どんな人が取組の実現に関わるべき？
- 実現のためのステップ：はじめの1歩、持続させるための仕組みは？

ロープウェイ
↑
土から緑も見える！

環7の上には歩道を
上から下まで
みどりが見える

空を移動できるように
ロープウェイなど + 景色も楽しめる

達成したいことは？
乗用車以外の交通手段で、移住区内を南北に移動しやすくする

取組 28
区内の移動を快適に！交通手段を増やして車を減らす

取組の内容
新しいルートをつかむ。
自動車以外の公共交通の利便性の向上や移動手段の確保、交通のルールを改善することで、移住区内の移動の利便性を高め、自動車の利用の減少につなげる

自動車利用の低減
自動車の便利さを取りよめる

なぜ移住区にこの取組が必要なの？
環七や環八の渋滞がひどく、移住区内の南北の移動が大変である

取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ

実現に関わるべき主体
移住区
事業者
その他

実現に向けたステップ
1. ルーティングを
考える
2. 他手段の
PRする

議論したアイデア

移住区気候区民会議

みなさん
南北を通り
内線は早く
解決してほしい

アンケートでのタイトル：
取組 28 | 区内の移動を快適に！交通手段を増やして車を減らす

自転車
自転車専用
レーン
つくる
安全な歩道
をつくる
自転車専用
レーンによる
南北移動が
楽になる

金失道
大胆に
南北に線路
を敷く

南北移動は
地上線より
電車専用
の環境
にも良い

- 第4回の取組内容
- ・道路の通行方向を変えて一方通行の道を活用することで、自動車を南北に移動しやすくする
 - ・すざ丸（EV版）のルートを増やすなど、既存のバスを使いやすくして南北に移動できるようにする
 - ・グリーンズローモビリティなどの新しい乗り物を使うようにする
 - ・自動車と自転車を分離して、自転車が優先的に南北に移動しやすい環境を整える
 - ・動く歩道、ゴンドラ、ロープウェイなど、観光名所にもなるような全く新しい南北の移動手段を整備する

11 グループ | 徒歩・自転車の利用促進

取組 30：車利用から徒歩への切り替えにインセンティブをつける

11 グループ | 交通 徒歩・自転車の利用促進

- タイトル：タイトルだけでも伝わるものにしよう
- 取組の内容：取組の基礎になる内容をしっかり議論しよう
- なぜ杉並区に必要か？：杉並区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしよう
- 関わるべき主体：どんな人や組織が取組の実現に関わるべき？
- 実現のためのステップ：はじめの一步、持続させるための仕組みは？

ベンチの設置
ベンチのマップ化

通勤の
通勤の
通勤の
通勤の
通勤の

マリン館の価値を高める
毎月1回、環状
マリン館の価値を高める
毎月1回、環状
マリン館の価値を高める
毎月1回、環状

通勤者
通勤者
通勤者
通勤者
通勤者

交通

達成したいことは？ 歩いて楽しく快適な環境をつくることにより、車での移動を減らす

取組 30 車利用から徒歩への切り替えにインセンティブをつける

取組の内容

知識も増やせるウォーキングラリーや、ウォーキングでポイントが貯まるアプリの活用、歩行者天国の実施、木陰やベンチなど涼しく休みながら歩ける環境を整える、電線地中化で歩きやすくなるなどさまざまな方法で徒歩を推進し、健康寿命の延伸にもつなげる

なぜ杉並区にこの取組が必要なの？

- ・現状、区民は非常に歩いているが、日本一を目指していくことが大切！健康寿命を延ばすことにもつながる
- ・歩行者天国は買い物にも便利で杉並区の経済にも寄与する
- ・健康で文化的な区民というのは、区のイメージアップにつながる

取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ

| 実現に関わるべき主体 | 実現に向けたステップ |
|------------|------------|
| 杉並区 | 1 |
| 事業者 | 2 |
| 区民 | 3 |
| その他 | |

議論したアイデア

杉並区気候区民会議

アンケートでの目標：
1日に2000歩以上歩く区民の割合を59%から70%に増やす
*データについて訂正：1日2000歩以上歩く区民の59%が健康状態が良い、の間違い

アンケートでのタイトル：
取組30 | ハード・ソフトの両面から、歩いて楽しく快適な環境を整える

交通インセンティブ
交通インセンティブ
交通インセンティブ
交通インセンティブ
交通インセンティブ

通勤者
通勤者
通勤者
通勤者
通勤者

通勤者の共同
通勤者の共同
通勤者の共同
通勤者の共同
通勤者の共同

杉並区の通勤者が
通勤者が
通勤者が
通勤者が
通勤者が

通勤者の共同
通勤者の共同
通勤者の共同
通勤者の共同
通勤者の共同

通勤者の共同
通勤者の共同
通勤者の共同
通勤者の共同
通勤者の共同

スマートフォンで通勤者
スマートフォンで通勤者
スマートフォンで通勤者
スマートフォンで通勤者
スマートフォンで通勤者

通勤者
通勤者
通勤者
通勤者
通勤者

取組 31：車利用からの転換を推進するため、現在自転車を使っていない人の利用を促し、使っている人もさらに自転車を利用するように促す

11 グループ | 交通 徒歩・自転車の利用促進

- タイトル：タイトルだけでも伝わるものにしよう
- 取組の内容：取組の基礎になる内容はしっかり議論しよう
- なぜ移並区に必要か？：移並区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしよう
- 関わるべき主体：どんな人や組織が取組の実現に関わるべき？
- 実現のためのステップ：はじめの一步、持続させるための仕組みは？

達成したいことは？ 1日の区民の自転車利用時間を9.8分から15分に増やす

取組 車利用からの転換を推進するため、現在自転車を使っていない人の利用を促し、使っている人もさらに自転車を利用するように促す

31 任意で自転車の利用を促進する

取組の目的 シェアサイクルの利用促進、車通勤から自転車通勤への切り替えを推進する企業にインセンティブをつける、自転車レーンの整備や、沿道のみどり増やす、電線地中化を進める、駐輪場の数増やしたり利用状況をデジタルで可視化する、自転車利用ルールの徹底など、さまざまな方法で自転車利用を推進する。

なぜ移並区にこの取組が必要なの？

現状、区民の1日の自転車利用時間は9.8分で、23区トップであるが、日本一を目指していくことが大切！気候変動の対策だけでなく、健康寿命を延ばすことにもつながる

DX化

取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ

| 実現に関わるべき主体 | 実現に向けたステップ |
|------------|------------|
| 1 移並区 | 1 |
| 2 事業者 | 2 |
| 3 市民 | 3 |

議論したアイデア

- ・ 検査条件を緩和 (ヘルメット、保険)
- ・ 駐輪場の確保 (ペデストリアンデッキ、自転車専用)
- ・ 沿道のみどり増やし、日陰で走行できる環境をつくる
- ・ フォーターサーバーをレーンに設置し走行環境を整える
- ・ 駐輪場の数を増やす・利用状況をデジタルで可視化する

第4回の取組内容

ソフト

- ・ シェアサイクルを利用していない人を減らす
- ・ MaaSをポイ活につなげる
- ・ 車通勤を自転車通勤に切り替えた社員への通勤費を優遇するなど、自転車利用を促す企業の取組を応援する
- ・ 自転車で気持ちよく走れるルールを徹底する
- ・ 区から電動アシスト自転車の補助金を

ハード

- ・ 時間帯やレーンによっての速度規制を導入する
- ・ とくに大きな通りなどは自転車専用レーンを増やし、段差を無くす、電線の地中化を進めるなどの整備をする
- ・ 沿道のみどり増やし、日陰で走行できる環境をつくる
- ・ フォーターサーバーをレーンに設置し走行環境を整える

12 グループ | 人と多様なモビリティの共生

取組 32：東西の移動だけでなく南北移動も省エネで移動できる選択肢を増やす

12 グループ | 交通 人と多様なモビリティの共生

- タイトル：タイトルだけでも伝わるものにして
- 取組の内容：取組の基礎になる内容はしっかり議論しよう
- なぜ移並区に必要か？：移並区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしていこう
- 関わるべき主体：どんな人や組織が取組の実現に関わるべき？
- 実現のためのステップ：はじめの一歩、持続させるための仕組みは？

交通

達成したいことは？ 南北も移動しやすい省エネルギーな移動手段のネットワークを構築し、移動にかかる環境負荷を減らす

取組 32 東西の移動だけでなく南北移動も省エネで移動できる選択肢を増やす

取組の内容 環境負荷の少ない交通を整備し、(東)や(西)だけでなく南北方向にも移動する手段を確保することにより、環境負荷の低い移動手段の選択を促す

なぜ移並区にこの取組が必要なの？

移並区は南北の交通を便利にするために、南北の交通の整備が必要
すでに南北の60kmをつなぐエイトライナーの計画があるため、活かせるの良い
すぎ丸などは便利だがEV化はまだ1台しかないため、発展させる

取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ

実現に関わるべき主体 実現に向けたステップ

議論したアイデア

※ 移並区気候区民会議

アンケートでのタイトル：
取組 32 | 東西の移動だけでなく南北移動も省エネで

環境課へ
などの
大きな通り
環境の上
交通手段

32
移並区は
南北の移動性
確保したい
西-東間の
道路-電線や
それ以外の
交通手段

バスは電車より
一般的でなくて
感じることがある
(バスは道路が狭い
から)

区内のクルマ
を減らす
公共交通
を充実させる

① 南北が
南北が
南北が
南北が
南北が

② 北の
北の
北の
北の
北の

③ エイトライナー
CO2削減
交通手段に

④ 公共交通
の時は必ず
EV車に

⑤ 公共交通
の時は必ず
EV車に

⑥ 公共交通
の時は必ず
EV車に

⑦ 公共交通
の時は必ず
EV車に

⑧ 公共交通
の時は必ず
EV車に

⑨ 公共交通
の時は必ず
EV車に

⑩ 公共交通
の時は必ず
EV車に

⑪ 公共交通
の時は必ず
EV車に

⑫ 公共交通
の時は必ず
EV車に

⑬ 公共交通
の時は必ず
EV車に

⑭ 公共交通
の時は必ず
EV車に

⑮ 公共交通
の時は必ず
EV車に

⑯ 公共交通
の時は必ず
EV車に

⑰ 公共交通
の時は必ず
EV車に

⑱ 公共交通
の時は必ず
EV車に

⑲ 公共交通
の時は必ず
EV車に

⑳ 公共交通
の時は必ず
EV車に

㉑ 公共交通
の時は必ず
EV車に

㉒ 公共交通
の時は必ず
EV車に

㉓ 公共交通
の時は必ず
EV車に

㉔ 公共交通
の時は必ず
EV車に

㉕ 公共交通
の時は必ず
EV車に

㉖ 公共交通
の時は必ず
EV車に

㉗ 公共交通
の時は必ず
EV車に

㉘ 公共交通
の時は必ず
EV車に

㉙ 公共交通
の時は必ず
EV車に

㉚ 公共交通
の時は必ず
EV車に

㉛ 公共交通
の時は必ず
EV車に

㉜ 公共交通
の時は必ず
EV車に

㉝ 公共交通
の時は必ず
EV車に

㉞ 公共交通
の時は必ず
EV車に

㉟ 公共交通
の時は必ず
EV車に

㊱ 公共交通
の時は必ず
EV車に

㊲ 公共交通
の時は必ず
EV車に

㊳ 公共交通
の時は必ず
EV車に

㊴ 公共交通
の時は必ず
EV車に

㊵ 公共交通
の時は必ず
EV車に

㊶ 公共交通
の時は必ず
EV車に

㊷ 公共交通
の時は必ず
EV車に

㊸ 公共交通
の時は必ず
EV車に

㊹ 公共交通
の時は必ず
EV車に

㊺ 公共交通
の時は必ず
EV車に

運行情報
を統合して
発信して
いく

取組 34：推したくなるような四季折々の緑が楽しめる安全安心な移動空間をつくる

12グループ | 交通 人と多様なモビリティの共生

- タイトル：タイトルだけでも伝わるものにしてよう
- 取組の内容：取組の基礎になる内容をしっかり議論しよう
- なぜ移住区に必要か？：移住区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしていこう
- 関わるべき主体：どんな人や組織が取組の実現に関わるべき？
- 実現のためのステップ：はじめの一步、持続させるための仕組みは？

- 道路の街路樹をよ
- いのかしら緑させつにエマ様々な花
- 徒歩に転換する
- モデルロードを「かみ」(とは)
- 善徳寺川神緑が思いやす
- 今ある緑を活かす
- 緑のドライブの大変
- 川に油目暗さよ
- 信号機をつける
- 自転車歩行者の安全をよい
- さける

交通

達成したいことは？ 歩きたくなる街並みをつくり、環境負荷の少ない徒歩移動を増やす

取組 推したくなるような四季折々の緑が楽しめる安全安心な移動空間をつくる

取組の内容

推したくなるような四季折々の景色を楽しむことができつつ、安全な通行ができるような整備を行うことで、歩道や緑道、川沿いなどを楽しい安全安心な移動空間にする。

なぜ移住区にこの取組が必要なの？

- ・ 移住区はすでに過度な緑化が進んでいる
- ・ 川沿いはもっと活用できる
- ・ 高齢者が増える中での視点も

取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ

実現に関わるべき主体

に向けたステップ

① 歩きたくなる街並みをつくる

② 安全安心な移動空間をつくる

③ 緑を楽しむ

④ 高齢者や子どもが安心して歩ける空間をつくる

⑤ 歩道や緑道、川沿いなどを活用する

⑥ 歩道や緑道、川沿いなどを安全に活用する

⑦ 歩道や緑道、川沿いなどを楽しく活用する

⑧ 歩道や緑道、川沿いなどを安全に活用する

⑨ 歩道や緑道、川沿いなどを楽しく活用する

⑩ 歩道や緑道、川沿いなどを安全に活用する

⑪ 歩道や緑道、川沿いなどを楽しく活用する

⑫ 歩道や緑道、川沿いなどを安全に活用する

※ 移住区気候区民会議

- アンケートでのタイトル：
- 取組 34「推したくなるような四季折々の緑が楽しめる安全安心な移動空間をつくる」
- ① 歩きたくなる街並みをつくる
- ② 安全安心な移動空間をつくる
- ③ 緑を楽しむ
- ④ 高齢者や子どもが安心して歩ける空間をつくる
- ⑤ 歩道や緑道、川沿いなどを活用する
- ⑥ 歩道や緑道、川沿いなどを安全に活用する
- ⑦ 歩道や緑道、川沿いなどを楽しく活用する
- ⑧ 歩道や緑道、川沿いなどを安全に活用する
- ⑨ 歩道や緑道、川沿いなどを楽しく活用する
- ⑩ 歩道や緑道、川沿いなどを安全に活用する
- ⑪ 歩道や緑道、川沿いなどを楽しく活用する
- ⑫ 歩道や緑道、川沿いなどを安全に活用する
- ※ 第4回の取組内容
- ・ 歩道周辺の過度な緑化と管理を進めることにより、歩きたくなる歩道にする。
 - ・ 一緒に歩いたり、ベンチを設置したりするなど、高齢者も歩きたくなるきっかけをつくる
 - ・ 川沿いを活用して、歩きたくなるまちにする
 - ・ 歩道を安心・安全にすることにより、徒歩へのハードルを下げる
 - ・ 歩行者が気軽に休める公園などの公共空間を維持・整備することにより、徒歩での移動を促す
- (その他の取組案：ソフト街りの取組案)
- ・ 歩くことにお得感を感じてもらい、夏に雨の日も歩きたくなるようなお得をつくる。
 - ・ 前回のKポイントが良い一区が適用ではなく民間でやっても？(区だとコストが心配)